

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

新たな連携のかたち(新連携事業)について

平成23年8月3日

アンテナショップ同士の連携による販売促進

目的

ふるさと知事ネットワークに参加する各県のアンテナショップが連携し、各県の特徴ある商品を集めた定期的なフェアなどを開催することにより、首都圏での特産品等の販売促進を図る。

事業内容

- 「ふくい南青山291」に11県の県産品を販売する常設棚を設置
- 常設棚を活用し、ご当地カレーフェアなどを定期的で開催

<常設棚を活用したフェア(案)>

- ・ご当地カレーフェア
- ・夏にオススメの飲み物
- ・お鍋にあう調味料(ポン酢、薬味)フェア など



11県のご当地カレーフェア



ふくい南青山291

学校給食交流による食文化等の学び合い

目的

ふるさと知事ネットワークに参加する県同士が、食材などを供給し合い、他県の食材などを使った給食を提供することで、それぞれの県の代表的な食や食文化などを学び合う。

事業内容

- 各県の郷土料理などのレシピ交換や食材提供などによる給食交流
- 給食に併せて、相手方の県の食や食文化などを紹介

<学校給食交流(例)>

=奈良県の献立=

- ・麦ごはん
- ・にゅうめん
- ・さばの香味あげ
- ・権座(ごんざ)
- ・柿(かき)
- ・牛乳



[内容]

- ・県の位置・基本情報
- ・郷土料理の特徴、由来
- ・特産物、食文化 など

交流



=福井県の献立=

- ・あぶらあげごはん
- ・のっぺい汁
- ・アカガレイの唐揚げ
- ・おあえ
- ・完熟梅ゼリー
- ・牛乳



各県の特産品のPR・販路拡大

目的

ふるさと知事ネットワークに参加する県同士が、農産物等の特産品を相互・一斉販売することで、地方や首都圏での食のPR・販路拡大を図る。

事業内容

- 各県の農産物直売所で農産物等の特産品を相互販売(平成22年度～)
- 首都圏のアンテナショップで農水産物等の特産品を相互・一斉販売

地方での販路開拓

- 農産物直売所での特産品の相互販売



- 地方でのイベントに併せ、各県の伝統野菜等を販売



首都圏での販路開拓

- アンテナショップで各県の農産物等を一斉販売



- 各県のアンテナショップで農産物等を相互販売

